

保護者の皆様

令和 6 年 3 月 1 2 日

高槻市立五領認定こども園

令和 5 年度 五領認定こども園 教育・保育自己評価について

保護者の皆様には、平素より本園の教育・保育活動に温かいご支援とご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

昨年末に実施しました教育アンケートの集計結果と本園評議員の皆様からいただいたご意見をお知らせいたします。また、アンケート結果と評議員の皆様のご意見を受けまして、次年度本園の教育・保育に関する取り組みも合わせてお知らせいたします。

今後も保護者の皆様と共に、子どもたちにとって、より良い教育・保育をすすめていくために努力を重ねて参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

評議員の方からのご意見

今年度は 3 回の評議員会を開催しました。今年度の教育・保育活動について、園見学や教育アンケートの結果から下記のようなご意見をいただきました。

(園見学をして)

- ・新しい施設ということもあり、子どもたちが安全で安心して過ごせる環境でとても良いと感じました。
- ・整理整頓されており、片付けも自発的にできるように工夫されていると感じました。
- ・子どもたちへの愛情が感じられ、異年齢や多様な子どもたちへの対応、配慮がされていると思いました。
- ・0 歳児から 5 歳児の交流があり、異年齢の子どもたちが共に過ごし、関わる取り組みによって「つながり」が豊かになり、共に楽しみ、わくわくしながら学びを深められてきたことが伺えます。

(アンケート結果から)

- ・肯定的な意見が多く、園と保護者、子どもたちの関係が良い状態であると感じました。
- ・子育ての相談相手として「協力者」がいる。の項目で『思わない』と感じている人がいました。園として、また関係機関とどのように連携していくのかは課題であると感じました。
- ・少数ではありますが、否定的な意見をどう受け止め改善していくのかは、難しい問題であると感じました。
- ・アンケートの各項目とも多くの肯定的な回答が見られたことは、保護者に寄り添い、地域の方と連携を取りながら、子どもたちにきめ細かな指導と丁寧な取り組みをされてきた表れであると感じます。特に「園に行くことを楽しんでいる」「入園後、友達とよく遊ぶようになった」「自分のことを自分でしようとするが増えた」では、肯定的な数値がとても高く、子どもたちが、安心して楽しく、学べていることがわかります。自分で考えて決めて、話し合いながら行動している取り組みの成果だと感じます。学びに向かう大事な意欲や自己肯定感の育成にも繋がっていると感じます。

(今後に向けて)

- ・小学校と園の児童及び教職員間の交流がさらに進み、キャリア教育として、見通しのある活動を実施していくことで、さらに安心感が生まれ、目標が明確になり、学びに向かう意欲に繋がっていくと思います。小学校へスムーズに移行していけるように、学ぶことは楽しいと感じていけるような小学校との交流活動ができればと思います。
- ・就学前施設は、今後認定こども園へと移行していきますが、保育園と幼稚園それぞれの良さをいかして子どもたちにとってよりよい保育を目指してください。

教育アンケート結果と評議員の方々のご意見を受けて、今後の取り組み

- 安心・安全な保育環境を継続、推進するために、様々な状況を想定した避難訓練を実施すると共に、保育場面の変化時と定期的な人数点呼の徹底、不適切保育を予防する研修の実施に努めます。
- 子どもたちが、多様性を認め合い、主体的・意欲的に活動できる教育・保育の研修及び研究の充実に努めます。また、乳児クラスでは育児担当制保育の中で愛着関係を育み、安心して過ごせる保育に努めます。幼児クラスでは、遊びを通して友達と繋がり、ありのままの自分を安心して表現できる集団づくりを目指します。
- 0歳児から5歳児の幅の広い多様な関わりの中で、刺激を受けたり、甘えたり、頼られたりする経験を通して安心感や自尊感情が育まれる教育・保育に努めます。
- アンケートにおいて肯定的な回答が増えたのは、コロナ禍が明け、行事や地域、学校との交流が盛んになってきたことも増加の一因ではないかと思われます。今後も地域や学校と連携し交流を進めて参ります。
- 就学前の学びは、遊びを通して身につける、非認知能力（目に見えない力）を育む大切な時期と言われています。非認知能力とは『目標に向かって取り組む力』『人とうまく関わる力』『感情をコントロールする力』などIQなどでは測れない内面の育ちで、生きていく力の土台となっていきます。遊びの中には、様々な体験ができ、工夫したり、気づきや発見があり、人との関わりもあります。友達と関わるなかで最初は思いがぶつかることもあります。その経験を積み重ねるなかで、折り合いをつけたり、交渉したり、おもちゃの貸し借りがうまくできるようになっていきます。ぶつかる経験があるからこそ体験できる学びがあります。このことから、主体的に様々な遊びが体験できる環境を大切に、失敗と成功を繰り返しながら自信をつけ自己発揮へと繋がる教育・保育を進めて参りたいと思います。

